

スポーツミュージアムに行きましょう!!

秩父宮記念スポーツ博物館

2011年7月17日。サッカーの女子ワールドカップ決勝戦で、これまでFIFAランキング1位の米国に1度も勝てなかった日本が、PK戦でその米国を降して世界一の栄冠に輝きました。劣勢に立たされながら、最後まで優勝をあきらめず粘り強く戦った「なでしこ」たち。その姿は日本中に感動を与え、まさに、スポーツが持つ「夢と希望と勇気を与えることができる力」を再認識できた大会でもありました。

さて、スポーツ好きの方にはよく知られていますが、JR総武線沿線には、当館を含め5つのスポーツミュージアムがあります。相撲、サッカー、野球、柔道、オリンピックなど。それぞれに素晴らしい偉業を成し遂げたヒーローがいて、数々の名勝負と歴史があります。なでしこに沸いた2011年、気になるスポーツミュージアムを訪れて、スポーツの魅力を再発見してみたいかがでしょうか。

【両国駅】相撲博物館（駅からすぐの国技館の中にあります）
 【御茶ノ水駅】日本サッカーミュージアム（駅から徒歩6、7分です）

【水道橋駅】野球体育博物館（駅からすぐの東京ドームの中にあります）
 講道館柔道資料館・図書館（駅から徒歩6、7分です）



野球体育博物館：往年の名選手のユニフォーム

【千駄ヶ谷駅】秩父宮記念スポーツ博物館（駅から徒歩5分、国立競技場の中にあります）

当博物館では、8月19日～9月30日の期間、ミニ企画展『なでしこの戦い』を開催しています。(財)日本サッカー協会にご協力いただき、2011FIFA女子ワールドカップの公式球と大野選手のユニフォームと、ハイライトシーンのパネル展示を行っています。サッカーファンならずともぜひご来館いただき、あの時の感動、興奮をもう一度蘇らせていただければと思います。

全国山岳遭難対策協議会 国立登山研修所



「山岳遭難事故防止のために」を提案する国立登山研修所長

全国山岳遭難対策協議会は、7月に国立オリンピック記念青少年総合センターで全国の山岳遭難対策関係者約250名が参加し開催されました。今回は、2010年度中の山岳遭難事故概況報告や滋賀県大津消防局の山岳遭難対策の取組みについての事例報告、「年代・性別・態様にみた遭難とそのリスクの実態」「遭難防止の取り組みと連携」と題しての講義が行われ、以下に示す「山岳遭難事故防止のために」を採択し閉会しました。

◆「山岳遭難事故防止のために」

全国山岳遭難対策協議会

平成23年7月7日

登山者は山岳遭難事故防止のために次のことに取り組むこと

- ・登山の第一歩は、目的とする山をよく理解することからはじまります。地図を基本にガイドブックや現地等から事前に山岳情報を調べること。
- ・登山計画を作成して、パーティー全員がその山を良く理解するとともに、

体力と経験に応じた無理のない計画であるかよく検討すること。
 ・登山計画書を家族や職場に知らせ、また、登山口の登山届ポスト、地元の警察署等に提出すること。
 ・単独登山はやめて仲間と登り、ツェルトや救急用品、非常食を必ず携行して、ゆとりある行動を心がけて、安全に登山を行うこと。

- ・山の事故は自己責任であることをよく考えて、山岳保険には必ず加入すること。
- ・危急時に確実に連絡を取れる手段を確保するために、無線機、携帯電話等の通信機器を持参して登山を行うこと。
- ・登山に出发する前に目的とする山域の最新の気象状況を手入して、気象遭難を防ぐこと。
- ・登山中は常にパーティー全員の体調や疲労に注意を払い、コースの状況・気象条件等に応じて下山するなどの冷静な判断を行い、山岳遭難事故を絶対に起こさない心構えで行動すること。

関係者は山岳遭難事故防止に向けて次のことに努める

- ・登山計画書の提出を奨励し、計画的で安全な登山の普及に努める。
- ・登山道、道標、トイレなどの整備とその適切な管理に努める。
- ・今後設置する道標及び案内標示の様式、表記方法等について、可能な限り統一に努める。
- ・詳細な山岳情報と気象情報の提供に努める。
- ・中高年登山者やツアー登山参加者の安全確保に努める。